

広報

# まつのやま

TART  
松之山



「緊張の一瞬」 小野塚和生君  
新潟県中学校スキー松之山大会

1988 2月号 (No.144)

2月1日現在 □総人口 4,136人(-10) □男 2,026人(-8) □女 2,110人(-2) □世帯数 1,218戸(+1)  
( )内は1月1日との比較

# 日本一でつかい「雪だるま」

## 作つたぞ〜。

### 浦田「豪雪塾」



浦田豪雪塾の懲りない面々。(仕掛人たち)

「浦田のしよが豪雪塾なんてが始めてから、少雪でいやんべだのお。」「これから毎年やつてもらえば、雪や降らなくなるんめかのし。」というような話が聞かれた。第二回豪雪塾が、一月十六・十七日の二日間、浦田小学校を中心会場に開かれました。

高く積まれた雪山に登り、雪ダルマ作りに挑戦。一時間後には、高さ六・六三メートルの巨大な雪ダルマが完成しました。雪不足の中、よくあれだけの雪を集めたと感心します。

また、正面玄関の方には鉄骨でほね組みした高さ七メートルの雪ダルマ(雪かま君)も作ってあり(中に入れるんですよ)沢山の雪を見た事がない都会の子供たちは大喜びでした。大喜こびと言えば、今回の参加者の中にイギリスとオランダ出身の方が五人(男性二人、女性三人)おり、豪雪塾も国際化して来ました。自分たちで小さな雪像を作ったりして、けっこう楽しんでいましたよ。重箱パーティーで

やっと出来あがった「雪だるま」  
高さは6m63cm。バンザイ!



なれない手つきで雪山に挑戦。  
本当に「雪だるま」になるの?

ソリ遊びが一番おもしろいね。



巨大な「雪かま君」と塾長の久保田達也さん。



の日本酒の味もグーだったとか！

さて、雪ダルマ作りの後は、重箱持ちよりによる「歓迎パーティ」。久保田達也塾長の歓迎のあいさつは、「かえろう自然、つくろうふれあいをテーマにやっている豪雪塾だが、ここが自分のふるさとと思っ、おもいっきり地元の人にあまえ、充分楽しんで行ってほしい。」というものでした。

あんぼ、甘酒、大根煮、のっぺ汁なども沢山用意され、

都会から来られた人達は、田舎料理に大変満足そうでした。

また今回は、何か地元の特産品をと、婦人の方たちの手作り品を展示即売し、これまた好評だったようです。手作り品の一部を紹介すると、「玄米がゆ、雪ん子あられ、少雪なます、ふきのとう、ところこがねもちの笹もち、軍手人形、スッポンなどなど。

この日は、民家五十軒に民泊し、翌日は新雪が降る中、参加者の大半が「兎狩り」にチャレンジ。藤原部落の山に

出向いて兎追ひ。なれないかんじきを履いて悪戦苦闘すること二時間。そのかいあって白く丸々太った兎が八羽捕れ、参加者は大喜び。さっそく兎汁にして食べましたが、おいしいという評判でした。もちつき、再会記念パーティとあつという間の「豪雪塾」でしたが、大成功でした。

この豪雪塾が縁で浦田にUターンしたご夫婦もあるそうです。増々力が入りそうですね。



浦田のかあちゃんたちも土産品売ってかせがんと。



豪雪塾も国際的に。今回5人の外人さんが参加してくれました。「田舎料理と日本酒、とってもおいしいです」と大感激。「あんぼは600コも作りました」と地元のおかあさんたち。



# 所得税の確定申告は

## 正しくお早めに！

昭和六十二年分の所得税の確定申告の準備は、もうお済みでしょうか。所得税の確定申告は、二月十六日から始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと相談会場は大変混雑します。確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

〈確定申告をしなければ

ならない場合〉

次のような場合は、確定申告をしなければなりません。

- 一、事業をしている場合、不動産収入のある場合、土地や建物を売った場合などで、昭和六十二年中の所得金額の合計額が、基礎控除、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除などの所得控除の合計額を超えるとき。
- 二、サラリーマンで、給与の年収が一五〇〇万円を超え

る場合、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二〇万円を超える場合など。

〈白色申告も、

収支内訳書の添付を〉

事業所得等（事業所得、不動産所得、山林所得）を生ずべき業務を行っている場合（青色申告書を提出する場合は除きます）は、昭和六十二年分の確定申告書を提出するときに、総収入金額や必要経費の内容を記載した収支内訳書を添付しなければなりません。その記帳を基に収支内訳書を正しく記載してください。

〈納税は期限内に〉

確定申告による所得税の納期限は、申告期限と同じ三月十五日までです。期限内

に納税を済ませてください。また、振替納税を利用していただく方は、指定された預金口座の残高確認や納税額に見合う預貯金の準備をしておいてください。



## 固定資産課税台帳

### 縦覧のお知らせ

## 納税相談

### のおしらせ

▽日時  
二月十七日（水）から  
二月二十三日（火）まで  
（午前九時より午後四時）

▽場所  
松之山町役場  
※税務署・役場から案内通知で指定された日時においてください。

※今回の相談は、確定申告者だけです。

住民税（町・県民税）の相談と受理は二月二十五日から三月八日までの間に、各部落で行います。

#### ▽縦覧の趣旨

固定資産課税台帳は、固定資産の課税にあたって基本的な重要帳簿であるので、これを納税者に開示することによって、登録事項の正確性を検証する制度です。

#### ▽縦覧の期間

六十三年度は、評価年の年あたり、例年三月に行っておりました固定資産課税台帳の縦覧を、事務処理の都合上

縦覧期間を四月八日（金）から二十七日（水）とし、役場総務課で行います。

#### ▽課税標準額等の確定

固定資産課税台帳の縦覧が行われ、かつ審査申出期間（四月八日～五月七日）内に、納税者から固定資産評価審査委員会に対する審査の申し出がない場合には、固定資産課税台帳に登録された価格、課税標準額などが確定します。

# 「5人が力を合わせて」

## 浦田山村留學生の生活 パートII

一月号に引き続き浦田に来て  
いる山村留學生の作文を紹  
介します。今号で紹介する二  
名の他にもう一人、鈴木恵子  
さん(高校一年)がおります  
が、原稿を失くしてしまっ  
たので、残念ですが紹介する  
ことができませんでした。

### あっという間に一年が!

高校一年  
池田美佳

早いもので私が松之山に來  
てあと二カ月で一年がたとう  
としていきます。  
来たときは雪がすごく積つ  
ていたのに、あっという間に  
夏が来て秋が来て、もう冬に  
さしかかっています。もうす  
ぐ雪が降ると考えると、なん  
だか今まで外で活動したこと  
がさまたちと浮かんで來ます。  
センター前の飯ごう水は  
ん。山ぶどう取りなど……。  
dayキャンプもあったのだ  
けど部活の試合のため行けな  
かったり、センター活動もな  
かなか全員そろわなかったり

することもしばしばありまし  
た。  
収穫祭は急に行うことに決  
まったため、準備に大変でし  
た。ほんの少しの人数であん  
なにたくさんの準備をよくや  
ったと思います。劇の台本作  
りや司会の練習、プログラム、  
神事と一人一人に役が与えら  
れて、それぞれ必死でした。  
太鼓という物も入り練習に時  
間をとられ、なかなか進まず  
結局、劇をできなくなったの  
は残念です。料理もあんなに  
作って、もう当分作りたくな  
い心境です。

日本海キャンプにひきつづ  
いて収穫祭と、大きなイベン  
トを通じて、山留生の少な  
さの良い所と悪い所が分かって  
來ました。これをよく覚えて  
おいて、悪い所(短所)を上  
手に使って、これからの少な  
い期間、冬に入るのでスキー、  
雪掘り、雪かきなどの活動が  
あるでしょう。より一層楽  
しく過ごせるように、時には  
みんなと語りあって生活して  
行きたいです。

### 貴重な農業体験

中学三年  
小熊一聰

やはり、浦田に來ての体験  
と言えど何と言っても、この  
自然に溶けこむことだと思う。  
ここに來て体験したのは、  
まず山菜取りだった。最初は  
何もかもが初めてで楽しかつ  
たが、一回一回が長くて四、  
五回ぐらいであきてしまった。  
その次は畑作業だった。じ  
やが芋・かぼちゃ・大根・枝  
豆など色々な事をした。これ  
は、疲れたときもあったが  
もしろかった。だけど、何と

言っても忘れてはならないの  
は、田植えから米の袋づめま  
での作業です。  
僕がやった仕事は、田植え、  
あわ取り・稲かり・はせかけ、  
はせ下ろし・だつこく・うす  
ひき・袋づめ・はせの準備と  
かたづけ。これだけ僕が直接  
した仕事だ。どれもこれも貴  
重な体験だったと思う。  
だんだん過疎化が続いてい  
く中、このような体験は、千  
金に値すると思う。



# 小正月行事

## 奇祭

### 婿投げ、すみぬり祭



婿さんの出発。まだまだ余裕。

小正月(二月十五日)には、町内各村々で「さいの神」が行われています。それぞれ無病息災・家業繁昌・豊作祈願と、先祖代々から受け継いで来た大切な小正月行事のひとつです。

松之山温泉湯本地区でも、奇祭として全国に知られるようになつた「婿投げ」と「すみぬり祭」が、十五日の午後大勢の観光客・カメラマンらが見守る中、盛大に行われました。今年の婿投げの主役は、高橋勇さんと志津子さん夫妻(さかしん)。若衆にかつがれて村はずれの薬師堂に登つたものの、いつもの所は雪が少なく場所を変えての婿投げ



助けてくれ。

となりました。この日はあいくの雨模様。雪が縮まってだいぶ痛そうでした。

婿投げの場所から少し離れた所で行われた「さいの神」。みんな顔を真っ黒にしながら一年間の無病息災を祈りあつていました。

今年は少雪のせい、例年



1、2の3の掛け声とともにガケ下に投げられる。今年は痛そう！



あちこちで「おめでとう」と声をかけながらすみぬりが行われる。カメラマンもいつの間にか真っ黒。



すみぬりの洗礼にあつて二人とも真っ黒



今年の主役 湯本の高橋勇・志津子夫妻。



# 「県民が選ぶ雪国風物詩」

## 募集

県と県観光協会では、広く県民から雪国新潟らしき・雪の魅力象徴する風物詩（雪国の自然景観・雪国のまつり・行事・雪国の生活・遊び・雪国のスポーツ）を次の要領で写真募集しています。

応募作品の中から入賞作品については、県の観光パンフレット・観光パネル等に活用します。

### （応募要領）

#### ▽応募規程

- 応募作品は、昭和六十二年十二月から六十二年三月までに撮影した自作品で未発表のものに限りません。（点数の制限なし）
- 応募作品の裏面には応募票を貼付してください。
- 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。（所定期日までにネガを提出いただきます。）

○入賞作品以外は返却いたしません。

#### ▽応募規格

カラープリントの四ツ切判とします。（サービス四ツ切判も可）

#### ▽発表表

昭和六十三年五月中旬（入選者本人にご通知いたします。）

#### ▽応募先 〒九五〇 新潟市

新光町四十一新潟県観光協会宛。または、県内のコンビニカラー取扱店。

#### （表彰）

入賞作品は表彰（賞状・賞金・賞品）します。

#### （主催）

新潟県観光協会・新潟県（協賛）

新潟県カメラ商組合・（株）コニカカラー新潟・コニカ（株）

## 県立高田南城高等学校

### 通信制生徒募集



働きながら、主として自宅  
で学習する通信教育によって、  
あなたも高等学校卒業の学力  
と、資格を得ることができま  
す。

- 一、入学資格  
中学校卒業（卒業見込）または、これと同等の資格を有する人。性別・年齢に制限なし。
- 二、募集コース  
○卒業コース（卒業資格を目的とした人）  
○科目別コース（実力と教

- 三、募集学科 普通科
- 四、願書受付期間  
二月二十二日から四月八日まで。
- 五、授業料 無料

※入学案内および入学願書は、返信用封筒（七〇円切手をはり宛名を明記）を同封して、〒九四三 上越市南城町三丁目三十八  
県立高田南城高等学校通信制まで請求してください。

## 東京上越学生寮入寮者募集

東京都葛飾区金町にある上越学生寮では、昭和六十三年度の入寮生を募集しています。入寮資格・採用人員等については次のようになってい

- ▽採用人員 二十名前後（男）
- ▽入寮資格  
○本籍地が上越地方であること。
- 出身高等学校の所在地が上越地方であること。
- 新制大学及び専門、専修学

校で上越学生寮より通学可能な学校に入学見込み、又は在学していること。  
▽経費について  
○入寮費 一五、〇〇〇円  
○毎月の寮費 二七、五〇〇円  
○（二食附付）  
○選考日時・場所  
三月十日（木）午後一時より、県立高田高等学校で実施。

- ▽提出書類  
○入寮願書・履歴書・身土書

（写真一杯貼付のこと）、健康診断書  
○返信封筒一枚（切手を貼つて）  
○手数料 一、〇〇〇円  
▽入寮願書、及び履歴書、身土書は寮の方へ直接請求して下さい。  
▽寮の住所  
〒一二五 東京都葛飾区金町一丁目二三の一〇  
上越学生寮  
☎〇三（六〇〇）六四八一  
※詳しい事は寮の方へ直接お問い合わせください。

▽提出書類  
○入寮願書・履歴書・身土書

一月二十一日



自然休養村センターで行われた開会式。

# 県中学校スキー大会松之山大会大成功

一月十九日・二十日の二日

間、松之山温泉スキー場で開催された「新潟県中学校スキー大会アルペン部門」で、松之山中学校・小野塚和生君(三年)がスラロームで見事三位となり、一月三日から鳥取県大山スキー場で開催される、全国大会に県の代表として出場することになりました。

また、妙高高原町で行われたクロスカントリー部門の県大会でも、松之山中学の福原賢君(三年)が三位に、村山敦史君(三年)が四位に入賞して、それぞれ県の代表選手

に選ばれました。

松之山温泉スキー場で行われたアルペン部門は、一日間とも素晴らしい天候に恵まれ、各地区の予選を勝ち抜いて来た延二〇名の選手は、持てる力を十分出せた事と想います。この大会の成績によって全国大会の選手が決まるとあつて、皆さん本当に一生懸命でした。

大会関係者はもちろん、役員、地元の方々、本当にご苦労様でした。

選ばれた選手の皆さんの検討を祈りたいと思います。

## 2 学校給食文部大臣賞優良校に松之山中

学校給食に対する取り組みがたが大変立派で、運営面でも優れた成果を挙げている学校を選び表彰する「昭和六十二年度学校給食文部大臣賞」の優良校に、松之山中学校が選ばれました。

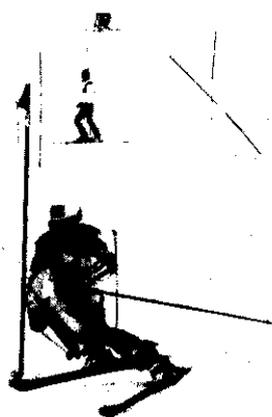
これは、県内七カ校選ばれ

たうち、中学校で唯一校表彰されたもので、中学校が選ばれたのは県内でも数年ぶりの事だそうです。

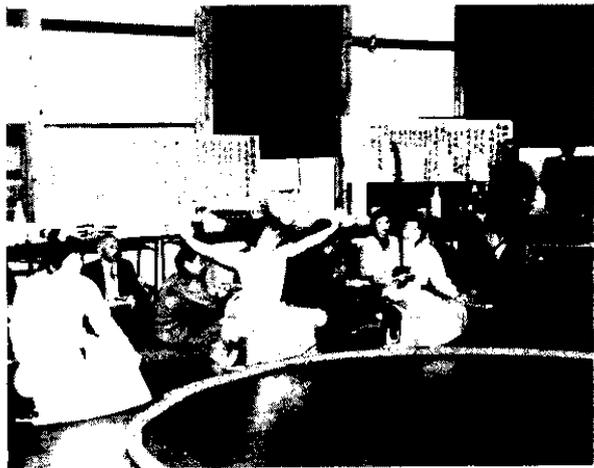
松之山中学校が選ばれたすぐれた点は、「楽しい会食と食事マナーの向上、健康の保持増進」をモットーに「加工

品をできるだけ避け、郷土料理を生かした手づくりの献立」「学校担任と生徒が一結での配膳等の準備や後片づけ」「教師と父田との給食に関する懇談会や試食会」等、小規模校の特性を生かした指導をしている点です。

賞状とトロフィーを手に表彰を喜ぶ相沢栄養師さんと給食婦のみなさん。



男子スラロームで見事3位となった小野塚和生君(松之山中3年)の滑り。



東横綱「響雪山美智男」の土俵入り。  
旭富士みたいに今度は嫁さんかな？

# 3 大相撲松之山場所 大いに盛りあがる！

今年で第三十一回を迎えた大日本大相撲松之山場所が、一月十日から二十四日までの十五日間開催され、松之山地区では若若男女、一二人の力士が参加して横綱を自差して頑張りました。

その結果、東の正横綱には役場の響雪山美智男君が九八点の高得点をマークして優勝し、西の横綱には役場の超打苦産慶子さんが九八点で準優勝して、女性横綱が誕生しました。昨年は農協部屋で東西二人の横綱が出ましたが、今年には役場部屋から二人出たことになりました。

一二十五日に松之山公会堂で大納会が行われ、役力士の土俵入りや序ノ口力士の出世披露などのほかに、今年には福引きが行われ一段と盛り上がりた大納会でした。

この大相撲は、松之山地区のほかに松里・布川地区でも同じ対戦表で実施しており、年々力士数も増えているようです。今場所成績のあまり良くなかった力士は、来年頑張つて横綱を目指しましょう。

<p>大相撲松之山場所 東横綱 響雪山美智男 西横綱 超打苦産慶子</p>		<p>優勝 響雪山美智男 準優勝 超打苦産慶子</p>	
<p>一 清ヶ崎 二 白波 三 信天翁 四 早稲 五 六光 六 伊助山 七 伊助山 八 伊助山 九 伊助山 十 伊助山</p>	<p>一 若若山 二 若若山 三 若若山 四 若若山 五 若若山 六 若若山 七 若若山 八 若若山 九 若若山 十 若若山</p>	<p>一 田丸山 二 田丸山 三 田丸山 四 田丸山 五 田丸山 六 田丸山 七 田丸山 八 田丸山 九 田丸山 十 田丸山</p>	<p>一 田丸山 二 田丸山 三 田丸山 四 田丸山 五 田丸山 六 田丸山 七 田丸山 八 田丸山 九 田丸山 十 田丸山</p>
<p>大相撲松之山場所 優勝 響雪山美智男 準優勝 超打苦産慶子</p>		<p>大相撲松之山場所 優勝 響雪山美智男 準優勝 超打苦産慶子</p>	



西横綱「超打苦産慶子」の表彰式。  
衣装がすごく決まっていました。

# 全国大会出場おめでとう

## ベストを尽くしてガンバレ!

本格的な雪が降り初め、スキーシーズンも真つ盛りとなりました。あちこちでスキー競技会が沢山開催されています。そんな中で、松之山の選手が大活躍しており、次々と全国大会への出場切符を手に入れていますので紹介します。

### ◎全国中学校スキー大会

二月三日から鳥取県大山スキー場で開催。

○アルペン(スラローム)

小野塚和生君(中坪)

○クロスカントリー

福原賢君(小谷)

村山敦史君(湯本)

### ◎全国高等学校スキー大会(インターハイ)

二月八日から北海道旭川市で開催。

○アルペン

佐藤一徳君(天水越)

○クロスカントリー

小林要太君(湯山)

### ◎第四三回国体冬季大会

二月二十三日から岩手県安比高原スキー場で開催。

○アルペン(ジャイアントスラローム)成年一部

柳一成君(湯本)

○クロスカントリー(高校)

小林要太君(湯山)

尚、小林君は全日本スキー大会にも出場が決まっています。

選手の皆様、体調に気おつけ精一杯頑張ってください。



成年一部  
柳一成さん



全中に出場する小野塚和生君、村山敦史君、福原賢君



インターハイに出場が決まった  
小林要太君と佐藤一徳君。

当選番号

## 年賀はがき

▽一等(カメラ一体型ビデオ)

A・B組共通

八九一三七五

六五九五六九

一〇四六二八

A組 四七〇八四四

▽二等(インスタントカメラ)

A・B組共通下五けた

二九一〇三

A組 四三八八五

▽三等(ふるさと小包)

A・B組共通下五けた

一四八三〇

八六六八三

四八八八八

▽四等(手紙セット)

A・B組共通 下三けた

一七一・七〇八

▽五等(お年玉切手シート)

A・B組共通 下二けた

一一・五三・六三

※引き換え期間は、一月二十日から七月十九日まで。

# 湯尻の鉱泉

松里地区を流れる越道川は下流で湯本川と合流するが、その上流には中坪橋があり、湯本側からこの橋を渡るとそこは大字藤倉地内、その一角に通称湯尻と呼ぶところがある。その名のおり、いまでも低温・微量の湯がにじみ出ていると聞く。

## ① まつのやま

文政五年(一八二二)、天水越村の信之丞はここに目を付けた。「前々水湯涌き出し候につき試し掘り仕りたく」と藤倉村に掛け合った。湯本にはすでに七軒の宿屋があり、湯治場の賑わい掘りが信之丞の夢をかきたてたのだらう。藤倉村の庄屋庄兵衛は中坪の百姓と相談の末

一、もし温泉が出た場合、信之丞は藤倉村の百姓となり、御年貢などは藤倉村を経山して納めるべき事  
とし、双方納得して工事に取りかかった。金は出さぬが、温泉が出てこそは藤倉村の地内、利権は藤倉村に残すという転んでもたでは起きないという論法である。しかし衆人の見守るなかで行われたこの工事も、個人の資力と稚拙な技術では湯の出るはずもなく、工事は失敗に終わった。越えて明治五・六年ころになると、上川手や大荒戸村で石油の掘削が盛んとなった。これに力を得て、今度は藤倉村の戸長小野塚勘逸が湯尻の温泉掘削に挑戦した。深度は明らかでないが、幸い二十六・七度の冷泉を得た。彼はここに湯小屋(旅館)を建て、営業許可を県に申請した。こ

れが明治十年九月。ところが申請の不備もあって許可は一向に下りず、この間小野塚勘逸は高令のため営業権を伴兼太郎(天保十三・一八四二生)に譲って隠居した。

明治十三年四月、ようやく営業許可を手にした兼太郎は、冷泉といえども宣伝あるのみと、次の願書を東頸城郡長に提出している。



湯尻の場所が書かれた古い絵地図

枝道ニ迷ヒ、岩田ラザルヲ憂ヒ、因テ沸湯標旗丈幅二尺三寸・横幅一尺六寸(一字の大きき)、旗章「官許冷泉沸湯場」ノ七字ヲ朱ニテ横ニ記載シ、旗竿五間五尺ヲ以テ戸前ニ日々掲揚シ、入浴ノ人民ヲ保護致シタク、コノ段願ヒ上ケ奉リ候。

う、これは兼太郎の苦肉の策でもあった。追って郡役所から「官許」の二字を除いて掲揚を許可する旨の通知があったが、客足は一向に伸びず不振が続いた。

## 特殊販売(1)

### 「アポイント商法」

電話をかけて、主に小中生や英会話の教材、なべなどを販売します。松之山でも最近、なべの販売でお宅へうかがって実際に料理を作ってみたいがよろしいでしょうかという電話があったそうです。こういう品物は、値段が高い、品質が悪いなど問題があることが多いですので十分注意して下さい。

冷泉沸湯営業人 小野塚兼太郎

明治十三年四月

明治十七年十二月、小野塚兼太郎は遂に廃業を決議、営業鑑札を返上して湯尻の冷泉は幕を閉じた。その後湯小屋は浦田口(大字松之山)の商家に引き取られて再建されたが、それもいまはない。わずかに、一枚の湯尻の水用に往時を偲ぶばかりである。

# 町史編さん室からのお願い

## お願い

松之山町は野鳥の宝庫といわれ、その種類の豊富なことで広く知られています。これは松之山町が豊かな自然環境に恵まれていることを意味するもので、美しい自然をいつまでも守り続けたいものです。

松之山町史の自然編では、こうした野鳥を調査対象とし、生物班では町野鳥の会の協力

を得て現在調査がすすめられています。

ついでにはこれらの野鳥の骨格標本を作るため、越冬や渡りの際に死んだ野鳥を求めていきます。こうした鳥を拾われた方は、町史編さん室にお届け下さるか、御一報下さるようお願いいたします。

なお無断で捕獲することは

強く禁じられていますので十分御注意下さい。

町森林組合内

松之山町史編さん室  
電話(0)三三三三番



# 国民年金の保険料

## 税金の控除対象です

国民年金の保険料は、税金の所得控除の対象になります。農業や自営業に従事されている方で、三月十五日までに行う税金の確定申告のときに「社会保険料欄」に昨年一年間に納めた、あなたの保険料はもちろんのこと、配偶者や家族の分の保険料の総額を記入してください。そうすると、その額が所得額から控除され、所得税がかからなくなります。

▽控除される保険料

○定額保険料

一月から十二月分(総額)

八七、九〇〇円

○付加保険料も納めている人。

九二、七〇〇円

○その他の保険料

前納・追納・未納保険料  
保険料額についてわからない人は、役場の年金係におたずねください。



# 国立石川身体障害者職業訓練校 生徒募集

## 訓練校 生徒募集

▽募集科目

- 製版印刷科・一般事務科・トレース科・電子機器科・洋裁科(洋裁コース・縫製コース・陶磁器科)

▽応募締切り

三月十九日(ただし、願書提出者より随時面接選考を行い定員になりしだい締切り)

▽その他

詳細は、電話〇七六二一四八―二二三五の学校か、最寄りの安定所へお聞き下さい。

▽願書の請求と提出先  
最寄りの公共職業安定所

# 特殊販売 (2)

## 「キャッチセールス」

アポイント商法に似ているのですが、この場合は、路上で呼びとめられて、「アンケートに答えて下さい」「いい話があるのですが」とか口実をつけて、結局は化粧品、教材時にはハンドバックなども売り込んできますので、話をよく聞いておくことです。ハンドバックなども店では数万円もするとか言って一万円くらいで買っても実際は数千円の品物だったという話もあります。

# さわやか君

西村 宗



# 就学援助について



教育委員会では、経済的な理由で義務教育費等にお困りの保護者に対して、就学援助を実施しています。

この就学援助は、教育委員会が生活困窮者として認定した保護者に対して、義務教育の一部を援助するものであり、援助する費目は次のとおりです。

就学援助を希望される方は教育委員会・民生委員又は、在学の学校長にご相談ください。

### ▷援助する費目

- 学用品（学用品・通学用靴・雨がさ・帽子など）
- 体育実技用具（スキー板・金具・靴・ストック）
- 新入学学用品（ランドセル・カバン・服など）
- 修学旅行（交通費・宿泊費・見学科など）
- 学校給食（学校で徴収する給食費）
- 医療費（結膜炎・う歯・中耳炎などの一部負担金）

### ▷認定の手続き

教育委員会にある「就学援助認定申請書」を提出してください。

### ▷認定申請書受付期間

2月10日から2月末日までの間に受付けます。

なお、受付期間終了後に困窮者となった場合は、その時点でも受付けます。

※詳細につきましては、教育委員会におたずねください。

## 戸籍の窓

### おめでた（出生）

美希ちゃん 佐藤 充さんの長女（天水越）  
美香ちゃん 南雲英春さんの長女（西之前）

### おくやみ（死亡）

鈴木マサヲさん 77歳 小谷 栄 や  
高橋 ツギさん 86歳 天水島 前新屋敷  
高沢 ノブさん 78歳 大荒戸 たんのせ

※12月26日から1月31日までの届出分です。

## 4月1日から

## 「労働基準法」が大幅に改正!

この改正にともなう説明会を、次のような日程で行いますので、事業主または管理者の方々は是非、出席くださるようお願いいたします。

### \*説明会

- とき 3月17日(木)午後1時30分より
- ところ 松之山町商工会館
- 受講料 1,200円

「改正労働基準法」テキスト代。

- 対象 全職種の事業主、管理者
- 主催 十日町労働基準協会東頸東部分会

# ぼくの絵 わたしの絵

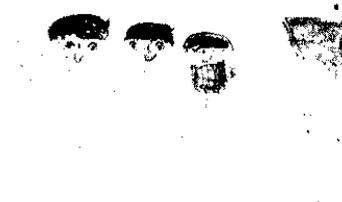
松里保育所年中組



きょうりゆう



たかはししょうさくくん ともだちとしゃぼん玉であそんで  
いるところ



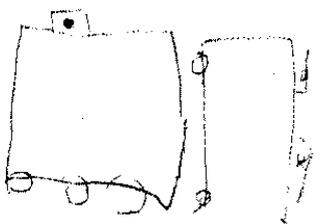
おんなの子がふうせんをみているところ



たきざわあゆみさん



たかはしふみこさん



きゅうきゅうしゃ



よしかわなおゆきくん



小学生の手によって神社のしめなわが  
運ばれる(小谷さいの神から)

- ▼一月のできごと
- 4日 官庁仕事始め
- 15日 婿投げ・すみぬり祭
- 16日 第二回家雪祭(浦田) 17日まで
- 19日 新潟県中学校スキー大会(アルペン) 20日まで
- 25日 議会建設委員会
- 26日 産業経済委員会
- 28日 総務民生委員会
- 29日 農業団体連絡会議
- ▼二月の予定
- 1日 議会総務民生委員会
- 7日 松之山スキー大会
- 21日 スキーパッチテスト
- 25日 水田農業確立対策会議
- 27日 安高松之山分校卒業式

しよのめ

## 編集後記

早いもので一カ月があつという間に過ぎてしまいました。この一カ月大した大雪にならず、例年に比べてずいぶん過し易かったと思います。

豪雪祭・小正月行事・県中  
学スキー大会と色々な事があ  
りました。どの行事も大勢の  
参加があり大成功でした。た  
だ、湯本の婿投げは雪が少な  
く、投げられた婿さんにとっ  
ては少し気の毒でした。

小正月の「さいの神」は、ほとんどの部落でやっているようですが、私の部落(小谷)でも数年前から復活して盛大にやっています。戸数や人口が減少して行く中で、部落中のほとんどが参加してくれるこのような行事を、これからも大切に行きたいものです。

二月は一時大雪のおそれもあるとか。予報が外れて少雪となる事を願いたいと思いま

広報まつのやま 88年2月号 □毎月10日発行  
□発行/松之山町(6)3131 □編集/議会事務局